

②被災後速やかな通行を可能とする高規格道路のミッシングリンク解消、4車線化、直轄国道等の防災対策

① 施策の目的

災害発生時においても人流・物流を確保するため、発災後概ね1日以内に緊急車両の通行を確保し、概ね1週間以内に一般車両の通行を確保することを目標として、災害に強い強靱な道路ネットワークを構築し、国民の安全・安心を確保。

② 施策の概要

災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能を確保するため、高規格道路のミッシングリンクの解消、暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を推進。

③ 施策の具体的内容

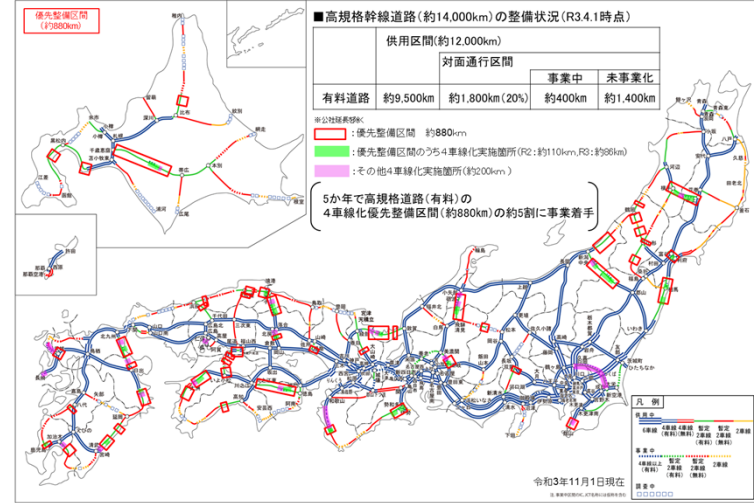
○ 国土強靱化に資するミッシングリンクの整備

<例> 中部縦貫自動車道(大野油坂道路)



国道158号の自然災害による通行止め回数(H16～R2)

○ 暫定2車線区間の4車線化



4車線化によるネットワークの代替性確保の例